

救急靴仕様書

この仕様書は、広島市消防局（以下「当局」という。）が発注する救急靴について定める。

総 則

- 1 応札者は、応札前に、本仕様書を熟知し、応札すること。
- 2 受注者は、契約後すみやかに製作工程表を当局に提示し承認を受けること。
- 3 受注者は、救急靴の見本品及びメーカー証明の試験データを提示し、承認を受けた後量産にかかること。
- 4 本仕様書に関し疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、担当課（消防局職員課 Tel 082-546-3427 担当：高橋）と協議のうえ、決定するものとする。
- 5 製品完成の際は、当局の指示によって検査を受け、手直しの必要がある場合は指定の日時までこれを完了すること。なお、当局の係員が作業中に検査を行う場合がある。
- 6 製品は、1足ごとに良質の個装箱に入れ、サイズ、氏名等が容易に確認できるようにすること。
- 7 数 量 521足
- 8 納入期限 令和9年1月22日（金）
- 9 納入場所 広島市消防局職員課ほか8署
- 10 サイズ別数量、各納入場所への納入数量及び個人名は、別途指示するので、受注者は契約後直ちに担当課に連絡すること。

仕 様

1 製法及び種類

靴の製法は、射出成形式製法とする。

2 形 式

靴の形式は、モカタイプスリッポン式短靴とする（図－１）。

3 各部の名称及び主要材料

各部の名称は、表－６、図－１による。

主要材料は以下による。

(1) 甲 被

甲被は、厚さが均等で、傷などの欠点がなく、クロムなめし法により製造し、表－１に適合した牛クロム型押し革を用いる。

表－１

項 目		規 格	試 験 方 法
厚さ		mm	1. 5 以上
銀面割れ	高さ	mm	6. 0 以上
	荷重	N	1 5 0 以上

(2) 表 底

表底（アウトソール）は、滑り止め効果のある形状を有したクリート付き表底とし、表－２に適合した発泡ポリウレタンを用いる。

表－２

項 目		規 格	試 験 方 法
引張特性	引張強さ	N/mm^2	6 以上
	伸び	%	3 0 0 以上
引裂強さ		N/mm	2 5 以上
耐老化性	引張強さの変化率	%	- 2 0 ~ + 2 0
加水分解性	引張強さの変化率	%	- 5 0 ~ + 5 0
耐燃料油性	体積変化率	%	- 1 2 ~ + 1 2

(3) 甲縫糸

甲縫糸は、太さ及びより方が均等で、使用目的に適合した合成繊維糸を用いる。

(4) 先芯

先芯は、簡易的なつま先保護を目的とした合成樹脂製のものを用いる。

(5) 中 底

中底は、柔軟性及び吸湿性のある合成材を用いる。

(6) 踏抜き防止板

踏抜き防止板は、表－３に適合する金属製踏抜き防止板を用いる。

表－３

項 目	規 格 値	試 験 方 法
耐食性	腐食域が５つ未満、かつ、それぞれ２．５mm ² 以下	JIS T 8107：2020 ５.7.3.1による
耐屈曲性	1×10 ⁶ 回屈曲後、目視可能な亀裂、剥離跡がないこと	JIS T 8107：2020 ５.7.3.3による

４ 構造及びサイズ

(1) 構 造

靴は、つま先部に簡易的なつま先保護を目的とした合成樹脂先芯を装着したもので、履口にクッションを取り付けたモカタイプスリッポン式短靴の形状とする。表底は発泡ポリウレタン２層構造（アウトソール、ミッドソール）とし、耐滑性、屈とう性、泥詰まり 防止を加味した意匠とする（図－１、２）。

(2) サイズ

靴のサイズは、JIS S 5037：1998（靴のサイズ）に規定するＥＥ、ＥＥＥ及びＥＥＥＥを準用し、表－４のとおりとする。

表－４

単位 c m

23.0	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	28.5	29
------	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

５ 完成品の性能

完成品は表－５に適合するよう仕上げるものとする。

表－５

項 目	規 格 値	試 験 方 法
表底のはく離抵抗	３００N以上	JIS T 8107：2020 ５.1による
かかと部の衝撃エネルギー吸収性	吸収エネルギーが２０J以上	JIS T 8107：2020 ５.10による
耐踏抜き性	くぎが貫通したときの力が１１００N以上	JIS T 8107：2020 ５.7.1による
耐滑性	動摩擦係数が０．２０以上	JIS T 8107：2020 ５.14による

6 品質及び外観

靴は、仕上げが良好で、形状が均整かつ堅固なもので、傷、斑点、汚れ、その他著しく外観を損なうようなことがないものとする。

7 検 査

材料及び完成品についての検査は合理的な抜取方式によって行い、試験は JIS T 8101 : 2020 の規定により行う。

8 表 示

(1) 製 品

靴の表底には、サイズ、ウイズ及び商標等を容易に消えない方法で表示する。

(2) 個装箱

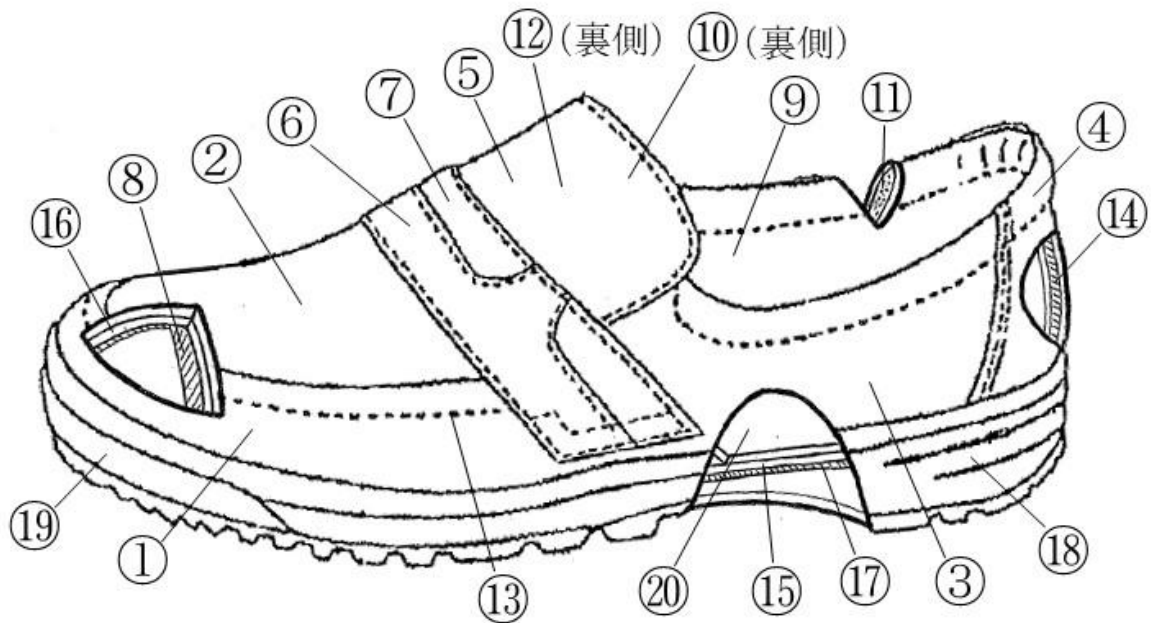
靴の個装箱には、靴の品名、サイズ及び商標等を表示する。

表一6

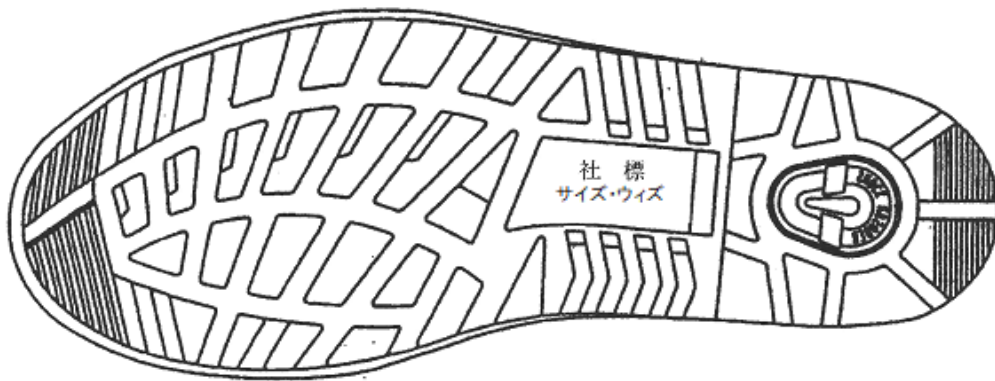
単位：mm

No.	名 称	使 用 材 料	備 考
1	先 革	牛クロムなめし型押し革 黒	厚さ 1.7 標準
2	モカ革	〃 〃	〃
3	腰 革	〃 〃	〃
4	市 革	〃 〃	〃
5	べろ革	〃 〃	〃
6	バンド革（上）	〃 〃	〃
7	バンド革（下）	〃 〃	〃
8	先 裏	合成繊維 〃	片面糊引き加工
9	腰 裏	〃 〃	〃
10	べろ裏	牛ソフト革 〃	厚さ 1.1 標準
11	履口クッション	ウレタンスポンジ	厚さ 7.0 標準
12	甲ゴム	合成繊維＋合成ゴム 黒	幅 30 標準
13	甲縫糸	合成繊維糸 〃	#20 番手相当
14	月形しん	再生革	
15	中 底	合成繊維＋合成材	厚さ 2.0 標準
16	先 芯	合成樹脂製	
17	踏抜き防止板	ステンレスバネ鋼	厚さ 0.4 以上
18	表底（ミッドソール）	発泡ポリウレタン 黒	
19	表底（アウトソール）	〃 〃	表一2による
20	中 敷	合成材半敷	

図－１ 外 観



図－２ 底意匠



但し、図による各部の形状は多少の相違を認めるものとする。